

# AKITA JC NEWS

http://www.akitajc.jp

発行人/松村謙裕 発行所/〈社〉秋田青年会議所情報サービス委員会 事務局/秋田市山王2-1-54三交ビル3F TEL.018-824-7070

No.9-2004

平成16年9月30日発行

## 9月例会を終えて

『青少年育成』という課題は、とても身近であり、しかも注目され、誰もが独自の教育論等をもっている事と思われま

す。“We Believe”4月号のコラム「私の教育論」で、9月の講師にお招きした杉原五雄氏と出会いました。

規制が多いと思われる教育現場において、独自の教育論に従って、ユニークな自然塾という教育を展開している杉原先生の記事を読ませて戴き、期初めという事もあり、青少年育成事業に対して大きな影響を与えられました。

講演も犯罪の若年層化という誰もが危惧する問題から取上げて頂き、教育現場の現状を教えて戴いてから、私たちが地域、親としてあるべき姿、指標の提案をして戴きました。

杉原氏は、元『校長先生』というイメージを逸脱し

た魅力ある語り口で、教育現状の問題を一刀両断にスパスパと切っていらっしゃる、1時間半という時間がとても短く感じられたという方が多かったと思います。定時総会の後例会が始まる食事の時間に、杉原氏が過去行われた事業のビデオを放映させて戴いたのですが、このビデオは、杉原氏の教育論を凝縮したような内容になっていて、教育委員会等から高く評価され、今後、教育関係の出版で売り出されるという事も伺いましたが、時間の関係で半分しかお見せ出来なかったのが唯一残念な点です。

本当に多数の方々にご出席戴き、誌上をお借りして心から御礼申し上げます。

講演が、今後の青少年教育の一助になる事を祈念申し上げ、9月例会の報告とさせていただきます。

青少年育成委員会 委員長 奈良依里子



講師の杉原五雄氏

### 新入会員紹介

7月号新入会員紹介の欄で社名が抜けておりました。お詫び申し上げます。

情報サービス委員会

佐賀 晴樹

(株)秋田エスエス商運

中村 大介

(株)向学舎グループ

浅尾 輝樹

(財)日本不動産研究所

熊谷 勲大

(株)リスコ

米塚 剛

(財)秋田観光コンベンション協会

南 勝寛

大和ハウス工業(株)

鈴木 憲

秋田ゼロックス(株)

佐野 宏司

秋田リコー(株)

吉田 政彦

(株)吉政石材

金子 敬司

金子地所(株)

本田 正博

(株)本田商店

岡部 徹

(株)システムクリエイト

猪股 慎哉

(有)秋田グリーン工房

## 9月定時総会及びOB交流会報告



谷口次年度理事長予定者

9月10日(金)定時総会が行われました。谷口理事長当選者が満場一致で次年度理事長に承認され、新たな年度がスタートを切りました。次年度キーワードは「心」ということでした。

私は初の司会で若干緊張しましたが、話す所も少なく(ほとんどが平川議長の仕事でしたから...)恥をかかずに済んでホッとしております。

9月16日(木)OB交流会が行われ、おかげさまでOB37名現役54名と大勢のご参加を戴きました。お忙しい中お集まり下さった皆様、誠にありがとうございました。当日は2種類の大鍋の他、当委員会森川君の会社、新屋は森川酒造店のおいしいお酒と共に、

大いに飲み食い語り合い楽しめたのではないのでしょうか。

OBによるパネルディスカッションでは、現役同士の会話で「~だったらしい」としか語られる事の無い全国大会秋田大会の裏話を直接聞く事が出来、現役にとってとても興味深い内容でした。

またアトラクションの正式名称『フーフー爆チンパンツゲーム』は如何でしたでしょうか。実は市販されているこの商品を実験してみた所、管が細すぎて股間の風船が膨らまないという問題が発生しました。よくある欠陥商品でございます。本番1週間前にこれはマズいと、ホームセンターでより太いビニールホース・三つ又を購入し、無理やりパンツに突っ込んだ当委員会苦心の逸品、真崎先輩始めOBの先輩諸兄にも楽しんで戴けたようで何よりです。ご参加の皆様、そして喜んでお付き合いしてくれたコンパニオンさん、ありがとうございました。

総務交流委員会 運営幹事 渡辺毅



OB交流会の様様

## 『広げよう! ビジネスの話を』ビジネス交流会

去る9月22日(水)秋田キャッスルホテルにおいて、企業力向上委員会担当のビジネス交流会を開催致しました。

企業力向上委員会は「我々も」JCから離れば一青年経済人。自社の経営状態が不安定では」Cどころではない。強い会社づくりに邁進しなければならない。」との松村理事長の強い思いで今年度、新設された委員会です。実質メリットとなるような事業を求められている中でビジネス交流会を開催させて戴きました。

テーマに『広げよう! ビジネスの話を』を掲げ、39名



の会員の皆様にご参加戴きました。

先ず初めに各企業事業について参加者全員からプレゼンテーションして戴きました。日頃、JCの話題ばかりでビジネスの話をする機会がない会員の話は新鮮で参加者は真剣に聞き入っていた様子でした。その後には5~6名のグループに分かれての各企業の悩み事相談、フリートークタイムと進められました。

相互の悩みや商品紹介、技術的な話等、個々には様々な話となった様子でしたがビジネスの話となるとこも目の色が変わるものかと思わされる参加者もいらっしゃいました。

今回は「異質な会員企業の特性を生かし、様々なジャンルの企業間情報を交換しビジネスチャンスを生み出す」を主旨としたビジネス交流会ではありましたが時間の関係上、思うようにお話しできなかった参加者には大変失礼を致しました。これを機会に今後も会員相互のビジネス交流が益々盛んになることを祈念しております。

最後にお忙しい中、ご参加頂きました皆様、そして設営にあたってご尽力頂きました秋田キャッスルホテルの皆様、誠に有難うございました。

企業力向上委員委員会 委員長 及川 正

## 東北青年フォーラムについて

去る9月4日(土)・5日(日)の両日、宮城県石巻市において「2004年度東北青年フォーラムinいしのまき」が開催されました。「舵をとれ冒険者たち！アクアの郷から始めよう夢回帰船物語」のスローガンのもと水と緑の自然が織りなすアクアシティー「いしのまき」の魅力がふんだんに盛り込まれた大会でした。

大会前日3日に行われた船上歓迎レセプション、4日の大懇親会、マンガの国らしいアトラクション、マニアにはこたえられませんでした。

そしてなにより今年度、当LOMより輩出、(社)日本青年会議所 東北地区協議会 深沢会長の 東北からひかりを集め発信しよう 自立した「スローソサエティ東北」を の今年度スローガンの実現に向かって発信されたメインフォーラム。皆様の目には、どのように

つりましたでしょうか。東北ゼミナール委員会閉校式での時田常任理事の発表もすばしかったですね？。地区の公式行事ではありませんでしたが、5日に決定した当LOM野球同好会の東北地区初優勝、初全国大会出場も本当にすばしかったですね。お疲れ様です。話題盛りだくさんであった本年度の東北青年フォーラム、「いしのまき」の地域性、特色を最大限に活かし、東北の未知の可能性を共有、真の価値あるスローソサエティ東北を発信することが出来たのではないのでしょうか。

最後になりますが 今大会の主旨をご理解下さりご賛同、ご参加して下さいました (社)秋田青年会議所メンバー皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

出向理事 荻原 慎太郎



東北青年フォーラム  
式典の様様



秋田JCのブース

## 東北大会優勝！

7月11日、悲願の秋田ブロック野球大会優勝を決めた我々秋田JCナインは、その余韻もさめないまま一週間後、7月17日に石巻で行われる東北大会に向かいました。

当日は午前四時に秋田市役所裏に集合して、チャーターバスで一路石巻に。しかし、天気はあいにくの雨でしたが「これくらいの雨ならやれる」を合言葉に出発しました。初戦は山形の寒河江JC、グラウンドがぬかるんではいましたがやる気十分の秋田JCナインはさっそうとグラウンドにでていきました。しかし、さらに雨脚が強まり、そして落雷もありノーゲーム、その

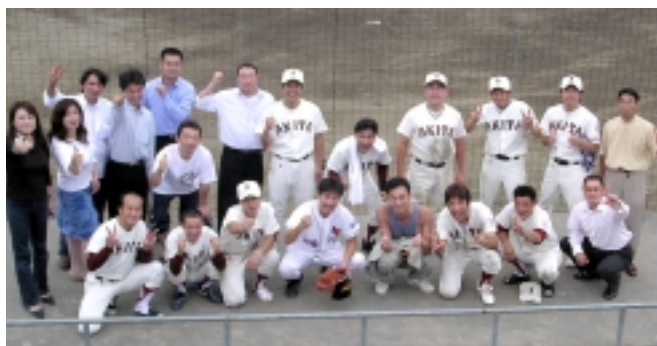
まま秋田の帰路につくこととなりました。(涙)

仕切り直しとなり、気合を入れ直して臨んだ初戦は弘前JCと大館樹海ドームで対戦、ブロック大会の勢いそのままに7対1で快勝し決勝へと駒を進めました。

そして決勝戦。9月5日、東北青年フォーラムが開催された石巻で行われました。対戦相手は因縁の寒河江JC、序盤は2点を先制して試合を優位に進めるも中盤で逆転され、一転して苦しいムードに。しかし、3回に同点においつき振出しに戻し、最終回に突入しました。その表の攻撃に寒河江JCに勝ち越しをゆるしましたが、なんとか最小失点差に抑え最後の攻撃に突入しました。

そして、相手の失策に乗じて同点に追いつき1死3塁、1打逆転の場面。打席には今年卒業、そしてブロック大会優勝の立役者、サヨナラの小笠原が登場。小笠原の強く振りぬいた打球は1塁と1塁手間を痛烈にぬけてサヨナラ勝ち、見事に全国大会の切符を手に入れました。当日、スタンドで応援して下さいました皆様、また、寄付をお寄せくださった皆様、本当にありがとうございました。今回の優勝は、秋田JC全体で勝ち取ったものです。全国大会でもがんばります。

秋田JC野球同好会 田口正人



## 10月例会のご案内

来る10月13日(水)18:30より秋田キャッスルホテル4F放光の間におきまして10月例会を開催致します。

『自然との共生を目指して』をテーマに秋田大学教育文化学部教授 井上 正鉄氏をお招きします。地球温暖化や酸性雨など多くの問題をかかえている今、本例会では自然環境のモデルでもある南極その自然・環境・生態系の実例を通じて大自然の営みや自然との共

生共存の大切さ考えると共に我々の知り得ない機会とします。会員の皆様万障お繰り合わせの上ご出席して戴きますよう心よりお待ちしております。

環境行動推進委員会一同

記

日 時 / 2004年10月13日(金) 18:30~21:15  
会 場 / 秋田キャッスルホテル 放光の間

### 理事長コラム



プロ野球界が大揉めだ。頭の古い経営者VS選手&野球ファンの正義軍と言った構図となり、結局新規参入を認め12球団維持の体制に落ち着いた。

流れからすれば落ち着くところに落ち着いたと言った感じ。個人的にはトッププロは5球団ぐらいにして韓国・台湾とアジアリーグを作ってワールドシリーズ参戦とかも面白いと思っていたが、いろいろ方法はあるので今後の展開に期待したい。でも本筋は全く解決していない様に思う。今回の件には選手、球団、ファン皆にも責任がある。

選手が野球大好きな野球小僧であるのは確かだと思うが完全懲悪の正義のヒーローではない。ストになって突然サイン会等を開催したりしているが本気ならとっくに毎日試合前にでもやって良いはず。この状況なら当然ではないか。

それに今時頭の悪そうなグラビアアイドルですら「ファンの方」位は言う。「ファンが、、、」なんて平気で言っていること自体勘違いである。ファンも廃線の決まったローカル線に集まる鉄道ファンさながらの状態。その上今年大阪ドームが一杯になったのも最終戦が初めてだったそう。大阪は存続機運で盛り上がっているかのように感じていたがマスコミの力はすごい。

もちろん、今回のオーナーサイドの対応もお粗末。しかし今まで経営のリスクを全てオーナーに丸投げしてきたことを考えると彼らが球団を私物と思うのも致し方なし。お金を借りる際、親まで保証人にされてこの会社は皆のものなんて本気で言える社長がいたら会ってみたい。

スポーツは今まで国や大企業任せだったがこれからは地域や中小企業が担っていくものだと認識している。トッププロにアメリカンドリームがあり、その上でスポーツで生計を立てることが出来る人を生み出すことが大切。

いろいろなプロがいて良い。地域に根ざしたスポーツ文化の発展は地域社会にとってもおいしいキーワード。このチャンスを逃してはならない。

(社)秋田青年会議所理事長 松村讓裕

### 編集後記

田んぼを見ると稲刈りが進みもう景色はすっかり秋。今年は台風の影響か紅葉が見られないところも多く残念ではありますが残り3ヶ月、

次年度への準備も進み

つつありますが精一杯頑張りたいと思います。

情報サ・ビス委員会 本田正博